

日本栄養改善学会東海支部会 実践栄養学研究 土曜セミナー 2月26日

時下、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、8月にスタートした東海支部会では、標記のセミナーを開催します。

今回は、栄養改善に関連する実践的研究活動を充実させ、2012年名古屋開催の学術総会で発表、さらに論文作成し、栄養学雑誌に投稿を目標にしています。研究計画、栄養疫学の方法論・基礎的な統計スキルを学習します。プログラムは講義と演習を組み合わせた少人数制のミーティング形式です。会場は遠方の会員にも便利な名古屋駅前！。

素朴な質問や同じ分野の会員同士の意見交換が楽にできると存じます。

皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- ◆ 日時：平成23年2月26日（土）9時30分～16時40分
- ◆ 会場：愛知県産業労働センター10階 1008会議室（地図 次ページ）
名古屋駅前徒歩2分 <http://winc-aichi.jp/>
- ◆ 参加費：2,000円 資料代 定員50名
- ◆ 目的：栄養改善に関する実践活動を計画・実施・発表する専門家の育成
- ◆ 対象：日本栄養改善学会東海支部会員

特に、地域や職域、臨床、学校などの現場で活躍する管理栄養士等

申込み：方法1 日本栄養改善学会東海支部会ホームページより、氏名、所属、連絡先メールアドレス、栄養改善学会会員番号、研究領域等をお知らせください。

東海支部会 HP <https://sites.google.com/site/tokaieiyoukaizen>

方法2、下記のQRコードを携帯電話から読み取り、申込みができます（SOFTBANK, docomo 確認済み）

後日「参加票」をメールで送ります。当日はこの「参加票」をお持ちの上、お越し下さい。

申込期限：平成23年1月15日

（先着順で、定員になり次第、締め切らせていただきます。）

問い合わせ：日本栄養改善学会東海支部会事務局 tokai.eiyoukaizen@gmail.com



たとえば、

- NST導入前と後で、血清アルブミン値の変化を統計的に検定したい。
 - 特定給食に関する喫食者アンケートをクロス集計したい。
 - 特定保健指導の効果をA施設とB施設で比較するとき注意すべきことは・・・
- ★★このような事例で、対応のあるt検定、オッズ比、研究デザインを学習しましょう。

実践栄養学研究セミナープログラムの詳細

★午前の部 9:30 ~ 12:10

講義:「実践的研究に必要な基礎知識」

講師:愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 講師 森田一三先生

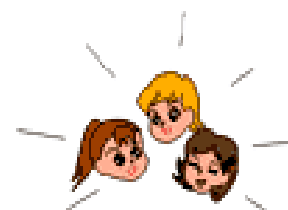
概要:健康教育の結果を、科学的なエビデンスにするためには、効果を検証する計画案(研究デザイン)と統計解析の基礎知識が必要です。今回のセミナーでは、約25年前に愛知県で始まった「8020 運動」はじめ、口腔衛生の実践フィールドでご活躍の森田一三先生より、実践的な健康教育を研究発表にまとめるときに重要な基礎事項を学びます。

【1時間目】健康教育現場に必要な疫学の視点

【意見交換】 ブレークタイム

【2時間目】基礎的な疫学指標を学ぶ、使う、理解する

★昼食・休憩 昼食等は各自準備してください



★午前の部 13:10 ~ 16:30

演習:「研究発表のための基礎事項」

概要:分野別の班編制で、研究論文の抄読を行い、論文の書き方、読み方を学びます。

予定分野:1)栄養教育 2)臨床栄養 3)公衆栄養 4)給食経営管理 5)食品・栄養の基礎研究等

ファシリテータ:参加者の研究分野により変更します。徳留裕子先生(名古屋学芸大)他、

【3時間目】研究発表資料より、PECO を整理する。

【4時間目】グループ発表と講評

(演習には、ノート PC を持参すると便利です)

会場案内

愛知県産業労働センター (愛称:ウインクあいち)
(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分

研究デザインの基本
PECO (PICO) とは、
Patient (患者)、
Exposure (曝露)、
Comparison (比較)、
Outcome (結果) の略である。
Exposure は Intervention (介入) の場合もあるので PICO ともいいます。

